

令和4年度 主要な事業実施報告

事業名	説明
観光情報誌作成 市街地観光マップ作成 (砂楽広告・宣伝業務委託)	本市の観光スポットや交通アクセス、旬のイベント等を広く情報発信するために作成。県、市をはじめ関係機関等と連携しながら国内主要の旅行会社等への広報宣伝誌として本市観光の認知度を図りました。 また、本市へお越しいただいた観光客や滞在客に対する道標として、誘客並びに観光客の利便性向上のために、情報誌および市街地マップを作成しました。 ◆市街地イラストマップの作成（令和5年3月／各30,000部発行） ◆観光情報誌「アロハ通信 No.51」（令和4年6月・令和5年3月／各30,000部発行）
指宿観光宣伝誘致促進事業 ・指宿観光国内セールス事業 (指宿市受託事業)	今年度の指宿観光国内セールス事業は、新型コロナの終息が見えない中、当観光協会委員会を活発に開催し、一早く行動に移せるよう、主要都市の旅行会社やマスコミ等の訪問を中心に情報発信を行った。また、社会情勢等を鑑み、近隣で最も市場が大きい福岡市内と関東・関西地区でセールス・PR活動を計画し、時代に合ったPR活動として、動画による情報発信や、SNS等を活用した広告等によるPR等も実施した。 併せて、県・市等と連携してキャンペーン等、アフターコロナを見据えて、これまで同様な企画とは違った、創意工夫を凝らした内容を計画し、教育旅行の受け入れ体制の強化やスポーツコミッションと連携するなど、早い段階で市担当者と、手法・手段のための協議をおこないたいと考えます。 *セールス活動報告 福岡／広島地区【令和4年7月21日（木）～24日（日）】 関東（東京）地区【令和4年11月16日（水）～17日（木）】 大阪／名古屋地区【令和5年1月31日（火）～2月2日（木）】 福岡地区（シンカゴシマ大物産展2023） 【令和5年3月10日（金）～12日（日）】
広域観光推進事業	本年度も鹿児島県で取り組んでいるサイクルツーリズムは県内の観光地を巡るコース設定が行われSDGsを取り入れた新たな観光戦略となってきたことから、本市としても密に連携を図りサイクルツーリズムの推進に努めた。特に池田湖に完成した池田湖PAXも魅力ある資源として生まれ変わり、今後の新たな観光資源として情報発信を行った。また、「いぶすき広域観光推進協議会」では、南九州市、南大隅町と広域連携を図り、次年度より新たに錦江町も当協議会に加入することから、より一層「山川・根占フェリー航路」の利用促進を図るよう努めた。さらには、種子島・屋久島への着地型観光の拠点づくりとして、積極的な観光受入の体制強化を図った。 *いぶすき広域観光推進協議会事業 ①広報宣伝事業 すみっこ巡りビジュアルコンテストの開催並びにプロモーション活動。Instagramへの広告掲載等 ②誘致促進事業 JR九州と連携したイベントへの出展及び教育旅行のセールス活動。 ③受入対策事業 菜の花・ひまわりの植栽事業及びアンブレラスカイの設置事業や、エージェント等と連携したおもてなし事業。 ④広域的連携事業 鹿児島県の（地域振興事業）を活用し、薩摩・大隅半島周遊観光促進事業で「ぐるっと満喫！ドライブスタンプラリーⅡ」を開催。（大隅広域観光開発推進会議との連携事業）

事業名	説明
体験型観光推進事業	周遊・滞在型観光地として、いぶすき極上体験プログラムの体験内容を精査して、既存プログラムの見直しを行うことにより、様々な分野の新規体験の開発などプログラム内容を充実させ、観光客のみならず、指宿市民も含めた利用者のニーズに合ったプログラムの開発に努めた。 併せて、旅行エージェントとの連会を図り、極上体験プログラムのPR・誘客を図った 〔既存の体験プログラム数〕 砂むし温泉/温泉：3 / ご当地グルメ：9 / 体験：8 合計：20
観光案内事業 (観光客の受入環境整備等) 指宿市総合観光案内所 砂楽内観光案内所 指宿ビジターセンター	国内観光旅行者へのサービスはもちろん、本市を訪れる多くの外国人観光客のため、指宿市総合観光案内所をJNTO認定の外国人観光案内所として機能させると共に、多言語による観光案内に対応するため、指宿市より観光コンシェルジュを案内所へ派遣していることで、少しずつ戻ってきている外国人対応もきめ細やかな接客に取り組み、それぞれの観光客のニーズに合った案内が出来た。 併せて、JR指宿駅構内にデジタルサイネージを設置したことにより、アフターコロナに向けた国内観光客並びに訪日観光客へのサービス向上を図る事で、旬な情報をいち早く提供することが出来た。
いぶすき菜の花マラソン大会 (実行委員会)	第40回いぶすき菜の花マラソン大会(令和5年1月8日開催) 新型コロナウイルス感染症が収束に向かう中、感染症対策をしっかりとした中で、3年ぶりにリアル大会を開催することが出来ました。全国より8,150名の参加申込を頂き、当日6,900名が参加しました。 久しぶりの大会という事で、色々と課題の見えたイベントとの評価の声もありましたが、コロナ過のこの3年で時代が大きく変化したように、当大会も時代に沿った大会として変革を図らなければなりません。第41回大会は、第40回大会の反省を踏まえて、時代に合った新しいマラソン大会運営を目指します。
いぶすき菜の花マーチ (実行委員会)	第31回いぶすき菜の花マーチ(令和5年1月20日~22日)開催 新型コロナウイルス感染症対策を取りながら、日本マーチングリーグの運営規約を遵守し計画を進めて開催いたしました。3年ぶりの大会という事で、参加者も減少するなど多くの課題が見えた大会でありましたが、本年はJML(日本マーチングリーグ)の総会も開催され、大会はもちろん指宿のPRにも努めることが出来た。 また、かごしま春の3大ウオーク「南さつま市(鑑真の道歩き)と霧島市(龍馬ハーフマラソン)」との連携を図り、参加者の心にのこる大会を目指し、より多くの方に参加していただき、今後はウォーキングプラス観光の推進を図っていく。年間を通じての気軽に歩けるウォーキングコースの設定も検討して行くよう努める。
いぶすきアロハのまちづくり (実行委員会)	第19回いぶすきフエスティバル(令和4年8月27日~28日) 新設された「指宿市民会館」において開催 新型コロナウイルス感染症の中、感染症対策をしっかりと行っただけで、エキジビションと街角フラ(ビーチフラ)の開催となった。しかし、久しぶりの開催にも係らず、沢山の参加登録をいただき、アロハのまち指宿を推進することができた。 エキジビション：1,266名 / 街角フラ(ビーチ)：241名 また、市長によるアロハ宣言は、ふれあいプラザなのはな館で本年4月29日に開催し、この日から10月末までの約半年間、アロハの着用期間として宣言した。

事業名	説明
いぶすき菜の花大使活動	本年度も3名の大使を任命し、上半期は新型コロナウイルス感染症の影響を受けたが、下半期から新型コロナウイルス感染症の収束も見えてきたことから、キャンペーンやセールス等に指宿の観光大使として積極的に参加し、観光宣伝及び各地との交流に努める事が出来た。 また、いぶすき菜の花マラソンやマーチなど、各種イベントに参加し、参加者への「おもてなし」を行うなど、菜の花大使として、市内外へのPR推進を図ることが出来た。
地区別宿泊統計作成事業	各宿泊施設、南薩地域振興局及び指宿市と連携を図りつつ、より効果的な観光客誘致活動に取り組む必要があるため、その根拠資料として月別の宿泊者数等の統計資料を作成し、取り纏め、理事会や関係者にフィードバック、或いは、HPでの公開により、セールスでの戦略に利用していただくため、会員、非会員を問わず閲覧する事ができるよう務めた。
プラットホーム整備促進事業 (山川根占フェリー利用促進事業) (文化庁事業)	アフターコロナを見据えて、徐々に訪日観光客も増えてきていることから、環境整備に取り組み、新たな観光地としての充実を図り、県観光連盟などとコロナ収束後の今後の動向を見極めながら誘致対策に取り組みました。併せて、いぶすき広域観光推進協議会との連携を図り、山川・根占航路間の船を使った安定航路確保と流通経済、広域観光を目的とし、南大隅からの支援や自主事業として取り組み、誘客を図りました。 また今年度は、新たに文化庁事業の採択を受けて、新しい時代に合った観光、食などのブラッシュアップを行い、付加価値のある商品造成に努めると共に、文化の掘り起こしを行い、古き良き時代と現代のコラボ旅行商品の開発を行い、観光客はもとより、旅行エージェント等を含めて誘客に努めた。
プラットホーム推進事業 夢たまプロジェクト事業 観光列車との関連事業	今年度は、昨年新型コロナの影響により、止む無く中止となったJR指宿枕崎線を活用したツアー企画を令和5年3月に実施した。 内容としては、鹿児島中央駅を発着として、貸切バスとJRを使って、南薩4市を廻るツアー企画で、62名の参加をいただき、新型コロナの感染予防をしつつ、列車内では今回のこだわりの「川辺牛」を使った弁当の振る舞いや、指宿駅での4市のマルシェを開催するなど、「おもてなし」の心を持って実施することで、参加者に元気を届ける事が出来ました。 また、来年開業60周年を迎えるJR指宿枕崎線の利用促進を図る為、南薩4市で協力してJR指宿枕崎線の活性化を図り、夢たまプロジェクト等でのツアーを企画し実施するように努める。
セントラルパーク指宿 (指宿市指定管理事業)	指宿市における観光事業の拠点として、観光客にはビジターセンターとしての旬の観光情報の提供に努めた。また、地元市民には公園等でくつろぐ機能、指宿温泉祭や各種イベントによる会場活用を複合的に持った公園・管理棟としての運営を図り、安心安全な市民の憩いの場としての環境づくりに努めた。その他、ドクターヘリのヘリポートとしての整備に努めた。
指宿温泉祭 (実行委員会)	今年は第75回を迎える記念大会として、新型コロナウイルスの影響を受けて、少し規模を縮小しての開催となったが、花火大会に於いては、75回を記念して、大玉75連発を打ち上げるなど、指宿市民に元気を届ける事が出来た。来年度は通常通りの開催を目指して更なる時代に合った企画を計画し、実施できるように努める。

事業名	説明
環錦江湾観光連絡会議	県内の錦江湾に接している各地域の広域連携を図り、アフターコロナに向けた会議や事業に於いて更なる協力体制を構築した。 また、今年度は指宿市に於いても会議を開催し、指宿港海岸整備事業について説明を行い、意見交換を実施した。 併せて、鹿児島県や鹿児島県観光連盟との連携を図り、更なる各種取り組みを実施し、県全体で錦江湾の魅力を発信した。
長期滞在ツアーの推進	エージェントとの連携による泊食分離型長期滞在実施において本市及び周辺観光地での魅力が検証できたことにより、時代に合った新しい観光推進やマイクロツーリズムの提案を進め、時代に合った観光のスタイルを推進した。
各種行事の協賛等	本年度は、久しぶりに開催された「いぶすきフラフェスティバル」、「いぶすき菜の花マラソン」、「いぶすき菜の花マーチ」等のスポーツイベントへの負担金はもとより、「指宿温泉祭」「いぶすき産業まつり」などの行事への協賛を行う事で、指宿市の市民はもとより、参加者に元気を届けることが出来ました。
諸事業及び諸団体への 助成及び連帯活動 （地域内の環境美化に対する助成事業）	指宿観光受入対策協議会や指宿温泉まち図栗降車（砂むし会館「砂楽」）との連帯を図り、誘客活動に努めた。 また、指宿の玄関口ともいえる JR 指宿駅に乗降する観光客、市民のために、駅構内、駅トイレ、駅周辺の美化清掃に努め、「駅を明るくする会」や、「足湯の清掃」及び、年2回開催される「クリーン指宿市民会議」に於いて、市民に協力と呼びかけ、指宿市内の清掃美化に努めた。
いぶすき直割キャンペーン いぶすきキャンペーン実行委員会	当キャンペーンは、市内の指定宿泊施設へ直接予約申込みの上で宿泊した人を対象に、宿泊費の半額を助成し、助成額の上限は1人あたり5,000円(子どもは2,500円)。期間中であれば何度でも利用のできるキャンペーンである。ただし、連泊する場合は1日分のみが助成の対象とした。当キャンペーンの利用者数は20,654名の利用となりました。
いぶすき包括協定 指宿市立指宿商業高等学校	本年度は、いぶすき包括協定を指宿商業高等学校と締結をし、福岡のセールスに指宿商業高校の生徒と特急「指宿のたまて箱」のPR活動を行った。また、いぶたまポスト設置の除幕式では生徒が乙姫に扮装をしてセレモニーを行った。
アロハオープンゴルフ （観光協会主催自主事業）	本年度は、第13回アロハオープンゴルフ大会を開催し、当日は53名の参加となった。コロナ感染予防策につきましても、いぶすきゴルフクラブの徹底したマニュアルの基で何事もなく全員がプレーすることが出来た。